

だって、楽しいんだもん

<今月の聖句> 「主において常に喜びなさい」(フィリピ4; 4)

雨がぽつぽつ降りだすと、園庭のどこかから
ケ、ケ、ケ、ケ、ケ、ケ、ケッ。
カエルたちの大合唱が聞こえてきていた。
ようやく明けたが、今年は長梅雨だったので
きっと大喜びで歌い続けたにちがいない。

「(園長宅前の)池で、カエルさん釣りたいなあ」と
6月ごろ、2歳児クラスのある子が言ったという。
「そんなこと無理ですよね〜」。しかし、園長は
「釣れる、釣れる!」。自信たっぷり。
実は昔、広沢の池でウシガエルを釣ったことがあるのだ。
「タコ糸の先にね、さきイカをゆわくの
それをそっと水面に垂らすと、水中からピョン!
突然、大きなカエルが飛びついてくるんだよ。怖いよ」
「えっ、ほんとですか、やってみます」

来る日も来る日も、雨、雨、雨。カエル、釣れたかなあ。
「全然、釣れません」「でも、飛びついてきたでしょ?」
「うんとも、すんともいいません」
「おかしいな、釣れるはずなんだけどな。餌のせいかなあ」
少し自信を失いかけた園長に担任が
「それでも子どもたち、カエルさん釣れるかな〜つて
毎日糸を垂らして、じっと池をみつめているんですよ」

目が開かれた。やっぱり、つくしの子どもたちだと思った。
大人は、効果と結果を計算して、やるやらないを考える。
でも、子どもたちにとっては、今この瞬間がすべて。
「楽しそう」と思ったら、心は動き、体が動く。
だって、カエル釣り、楽しいんだもん!

来る日も来る日も釣り糸を垂らした午後の昼寝の夢の中ではきっと
カエルさんと一緒に雨あがりの水面を楽しく飛び跳ねていることだろう。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<夏まっさかり、お庭のチャペルで礼拝しよう>

毎週日曜日午前10時30分 だいが教会